のみなさんへ

|  |
| --- |
| 「にづくのにる」のについて |

では、「ののにする（このリーフレットでは「」とびます。）にづき、「にするない」「の」にするを、にするための（きまり）をつくりました。

このは、やなどのが、をもってむことで、のなにびつけることをとしています。

ないをくすこと、のをして、のあるがきやすいづくりをめます。

３４１

＜＞

　　　、（）

＜＞

　　　、

＜＞

　　　・

|  |
| --- |
| Ｑ．どういったのしができますか |

Ａ．として35（にするない）と、36の３（の）にするをとしています。

|  |
| --- |
| Ｑ．でもをしることができますか |

Ａ．・をわず、がしているで、かつ、２１にするであるがしることができます。※をっているかどうかはありません。

|  |
| --- |
| Ｑ．のしはどのようにすればよいですか |

Ａ．のはありません。しはでも、でもかまいません。ののなど、あらゆるでのをみます。などへの「のめ」についてもじです。

|  |
| --- |
| Ｑ．とはどういうことですか |

Ａ．ここでいうは、やととのでしいをして、おいにしてめることをいいます。

|  |
| --- |
| Ｑ．はどのようなことをするのですか |

Ａ．は、やのヒアリングやしいなどをじてをしようとするしいのです。そのものに、などはありませんが、のにあたってなときは、やがなどを行います。

にづくのにる

（）

１　ののにする（３５１２３。「」という。）７４の４のにるにおけるのについてなをめるものである。

（の）

２　このにおいて、のにげるは、にめるところによる。

(1)　３５び３６の３にめるにるをいう。

(2)をしることができる　が（・をわない）したで、かつ、２１にするであるをいう。

(3)　をしるがするのをいう。ただし、をしるがのは、にあってはそのをするのを、び（をむ）にあってはするをいう。

(4)　び（をく）にあってはを、にあってはを、にあってはをいう。

（の）

３　はであるであるからのしをけたときは、でながられるようめなければならない。

２　によるがられなかったはをるためになは、はをしたは（にあってはそのをする）にしにるをめることができる。

３　にあっては、するはにしにるをめることができる。

（）

４　はののためになは、、のしのあったの、のしのあったののをとしたをしにあたることができる。

このは、３４１からする。

＜の＞

①のあるからの

②はでをるようめる。

③でがられなかったなどまたはは（にあっては）にしにるをめることができる。

③’のによってもがられなかった、は（は）にしにるをめることができる。

④をめられたはののためになときは、、のあったのびのをとした、のためのをしにあたることができる。

**④**

**④**

**③’**

**③**

**③**

**②**

**②**

**①**

**①**

のための

（７４にづく）

○（）

○

　（、）

び（む）

【】

※と

○（・）

○・・

○

【】

※のバリアフリー、と連携

【のある】

「ない」「」にするのし

【のある】

「ない」「」にするのし